

佳作

「ルイくんへ」

(鹿児島県南九州市)
鹿児島県立立川辺高等学校 二年
奥園 玲子

ほおの感触があなたをとらえた瞬間いつも思うこと。また、会った。

小さい頃から、感情が表に出やすい私。

それでも、ひとりになるまで待つていてくれるあなた。

私が飼っていた犬が死んでしまったときには、たくさんあなたに会いました。

卒業式には、ほんの少しだけ会えました。

あなたに会うときが、一番わがままです。

でも、あなたに会うときが一番素直です。

矛盾していますが、そうなんです。

用意していたタオルが少しずつぬれて、私の思いをあふれさせる。冷たい。

でも、そうして壊れそうな心を、あなたは静かに救うのです。

今度、あなたに会うときは、幸せと喜びで胸をいっぱいにして会いたいです。

いつか、それほどうれしい、幸せだと思える時が、くるのでしょうか。

その時は喜んで会いましょう。

例え、綺麗な顔が崩れても。

あなたで景色がにじんで、みんなの笑顔が見えなくても。あなたを抑えることはない。

だから、

私があなに言いたいこと、伝えたいことはただひとつ。

またね、涙くん。

玲子

追伸

生まれた時から一緒だから、

おばあちゃんになっても一緒についてよ。

枯れさせる余裕なんてあげないから。